

## 京丹後市教育振興計画

### 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
文化財保護課	新谷 勝行
生涯学習課	安達 純

重点目標	6 歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます
基本の方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。 また、市民や団体による主体的な文化芸術活動等を推進することにより、文化の薫り高いまちづくりに寄与します。

#### 1. 施策の方向性

#### PLAN

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	①京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育による「丹後学」を積極的に展開します。特に、世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの地質遺産を活用し、小学生を対象にフィールド学習を実施します。 ②子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。 ③文化財セミナーや京丹後史博士育成講座、文化財の見学等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図り歴史文化財の普及啓発に努めます。
2. 地域の文化財の総合的な保存と活用	①市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新、映像記録作成等を通して文化財の保全と活用を図り、伝統芸能を継承していきます。 ②京丹後市史編さん事業や発掘調査等の文化財調査での成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。 ③京丹後市ホームページのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。 ④古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡をはじめ、地域文化財の総合的な保存と活用を進めることで郷土への誇りと愛着を培います。併せて文化財保存活用地域計画を策定し、丹後の輝かしい資産を観光や地域振興に積極的に活かします。
3. 資料館施設等の整備充実	①市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、丹後ちりめん、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。 ②児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。 ③郷土の歴史や文化財の調査を進め特別展示、企画展を開催するとともに貴重な資料を保管し後世に伝えます。 ④資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。
4. 文化芸術活動の推進	①文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、関係機関及び団体と連携し、地域の特色を生かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。 ②市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館など関係施設を活用して、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実させるとともに、丹後文化会館の改修に向け京都府に対し要望活動を進めます。

#### 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備をすすめるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

2. 主な取組と構成事務事業一覧 **PLAN** **DO** ※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照 **CHECK** **ACT**

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課			
①	京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育による「丹後学」を積極的に展開します。特に、世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの地質遺産を活用し、小学生を対象にフィールド学習を実施します。				
②	子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。				
③	文化財セミナーや京丹後史博士育成講座、文化財の見学等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図り歴史文化財の普及啓発に努めます。				

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課			
	文化財保護啓発事業	文化財保護課			統合(整理)
	市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。				

2. 地域の文化財の総合的な保存と活用		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課			
①	市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新、映像記録作成等を通して文化財の保全と活用を図り、伝統芸能を継承していきます。				
②	京丹後市史編さん事業や発掘調査等の文化財調査での成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。				
③	京丹後市ホームページのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。				
④	古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡をはじめ、地域文化財の総合的な保存と活用を進めることで郷土への誇りと愛着を培います。併せて文化財保存活用地域計画を策定し、丹後の輝かしい資産を観光や地域振興に積極的に活かします。				

1	市指定文化財等補助金	文化財保護課	2,000	-	-	統合(整理)
	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。					
2	史跡等維持管理事業	文化財保護課	1,781	-	-	統合(整理)
	指定文化財及びそれに関連する施設の草刈や補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。					
3	指定文化財等管理事業	文化財保護課	-	4,546	6,621	統合(整理)
	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。また、指定文化財及びそれに関連する施設の草刈や補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。					
4	遺跡整備事業	文化財保護課	31,235	46,150	49,293	拡大
	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
5	遺跡発掘調査等事業	文化財保護課	4,213	6,606	5,150	拡大
	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護活用につなげる。					
6	地域文化財総合活用推進事業	文化財保護課	-	6,565	5,633	現状維持
	市内に数多く残る文化財について、指針となる文化財保存活用地域計画の策定を行うことで、市の歴史文化の特色や課題を明らかにするとともに、その課題解決に向け教育、観光、地域づくり等の各分野が地域資源として有効活用につなげる。					
7	地域文化財総合活用推進事業【繰越】	文化財保護課	-	-	692	
	市内に数多く残る文化財について、指針となる文化財保存活用地域計画の策定を行うことで、市の歴史文化の特色や課題を明らかにするとともに、その課題解決に向け教育、観光、地域づくり等の各分野が地域資源として有効活用につなげる。					

3. 資料館施設等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課			
①	市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、丹後ちりめん、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。				
②	児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。				
③	郷土の歴史や文化財の調査を進め特別展示、企画展を開催するとともに貴重な資料を保管し後世に伝えます。				
④	資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。				

8	郷土資料館管理運営事業	文化財保護課	2,719	29,484	2,696	現状維持
	民俗資料等の収蔵、調査並びに公開施設である郷土資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
9	古代の里資料館管理運営事業	文化財保護課	49,994	11,412	13,780	現状維持
	考古資料・美術工芸品等の収蔵・調査・公開施設である丹後古代の里資料館の維持管理を行い、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高める。					

3. 資料館施設等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
	10 資料館等指定管理施設運営事業	8,562	8,977	8,586	現状維持	
	琴引浜鳴き砂文化館の維持管理を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。					
4. 文化芸術活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
① 文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、関係機関及び団体と連携し、地域の特色を生かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。						
② 市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館など関係施設を活用して、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実させるとともに、丹後文化会館の改修に向け京都府に対し要望活動を進めます。						
	11 文化芸術事業	34,410	35,645	34,428	現状維持	
	生涯学習課 市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。また、文化芸術振興審議会を設置し、文化芸術振興計画の策定に向け、調査・審議する。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R2決算額	R3決算額	R4予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
	12 文化財保護審議会委員設置事業	225	171	269	現状維持	
	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。					
	13 文化財保護一般経費	308	216	357	現状維持	
	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。					
		計	135,447	149,772	127,505	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。 また、市民や団体による主体的な文化芸術活動等を推進することにより、文化の薫り高いまちづくりに寄与します。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座)	H25	262	R3	1,700	R6
	資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設)	H25	8,237	R3	18,000	R6
	史跡整備	遺跡	6	H25	7	R3	8	R6
	京丹後史博士の認定者数	人	-		66	R3	120	R6
	文化協会加盟サークル数	団体	170	H25	135	R3	200	R6
	文化芸術事業の開催回数	回	-	R1	48	R3	100	R6
京都府丹後文化会館利用者数	人	-	R1	9,738	R3	42,000	R6	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	令和3年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる		<p>《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》 新型コロナウイルス感染症の関係で、京丹後史博士育成講座は休止し、京丹後市文化財セミナーは1回開催した(85名)。このほか、外部からの出前講座等の対応を行った(14回、262名)。 今後は、対策を講じながら、セミナーや講座を通常通り開催し、目標値に近づけるようにしたい。</p> <p>《資料館、文化館入館者数》 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、丹後古代の里資料館・郷土資料館・鳴き砂文化館は令和3年4月25日から5月31日までおよび8月27日から9月17日までを臨時休館とした。臨時休館および学校関係の利用が激減したため、前年度実績と比べ入館者が半減した。 今後は、各館ともに対策を講じながら開館、事業実施を行い、集客増につなげていきたい。</p> <p>《史跡整備》 網野銚子山古墳整備事業は、京丹後市史跡整備検討委員会の指導を得ながら平成29年度には環境整備基本設計を実施し、平成30年度より整備工事を進めている。 令和3年度は、検討委員会の指導を得ながら墳丘樹木の整理伐採、前方部の墳丘復元、周濠整備を行った。令和4年度以降も引き続き、環境整備事業を進め、令和6年度には完成予定である。</p> <p>▲ 《京丹後史博士の認定者数》 令和3年度は講座の開催を見合わせたため、認定者数に変化がなかった。4年度は開催を予定している。</p> <p>《文化協会加盟サークル数》 新型コロナウイルス感染拡大及び高齢化のため多くの団体が脱退した、目標を各年度ごとに、△10団体下方修正する。各加盟団体が実施の教室や大会、市協会が実施の総合文化祭、サークル体験会を通じて、市民へ芸術鑑賞機会を提供することができた。今後も、市民が文化力を高め、加盟サークル数増加にもつなげるよう協会を支援していく。</p> <p>《文化芸術事業の開催回数》 各地区文化祭、各町文化祭、文化協会総合作品展、小さな発表会、サークル体験会、団体PR、アーティスト・イン・レジデンス事業を実施した。</p> <p>《京都府丹後文化会館利用者数》 新型コロナウイルス感染症対策で貸館が少なく、また、収容人数を減らして事業を実施する場合も多い。ホールの利用日数は72日とコロナ以前の約50%にとどまる。自主事業開催にあたっては近隣市町と連携し丹後地域全体での利用拡大計画を立てる必要がある。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和4年～令和6年度での主な取組)

**ACT**

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	京丹後市文化財保存活用地域計画の策定を進めるとともに、庁内や関係団体との連携を図り、多面的な文化財の保存・活用を進める。また文化財セミナー等の講演会、資料館施設での様々な展示、体験事業を開催するとともに、出前講座への積極的な対応も行き、学習する機会の充実を図る。
	2	網野銚子山古墳の整備事業では、墳丘の補修、園路整備、周濠整備のほか、進入道路、駐車場等の整備を行う予定である。これにより、市民や外からの観光客に、日本海側最大の前方後円墳の姿を示し、地域学習や観光スポットとしての活用をはかる。
	3	丹後古代の里資料館、郷土資料館、琴引浜鳴き砂文化館を適切に維持管理するとともに、それぞれ収蔵資料の内容から機能分化し、市民や外からの観光客に、地域学習や観光スポットとしての活用を図る。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費						4,546千円	4,771千円	225千円	95.2%	課	文化財保護課	
	目	07 文化財保護費											02 指定文化財等管理事業	4,052千円
	事業													
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源											
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。また、指定文化財及びそれに関連する施設の草刈や補修等の維持管理を行い、指定文化財の適切な管理活用を図る。													
主要な業務・事業の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 21件 2,389千円  (内訳)・国、府指定登録文化財補助金核当分 11件 1,509千円  ・京都府社寺等文化資料保全補助金核当分 10件 880千円  (京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの)  神社・寺院建物の修理、覆屋・収蔵庫の修理、民俗芸能の道具の修理・新調、史跡の修理などを支援。  ※参考 令和2年度実績  補助件数 28件  補助金額 2,000千円  事業総額 22,550千円</p> <p>○史跡等草刈・環境美化委託 1,013千円  神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、郷村断崖、旧口大野村役場庁舎、湯舟坂2号墳、竹野神社環境保全地区、高山12号墳、遠慮遺跡、黒部鏡子山古墳、震災記念館用地、大谷古墳、浜詰遺跡、細川ガラシャ夫人隠居地、岡1号墳 計16件</p>		<p>○コウノトリモニタリング事業 784千円  国指定特別天然記念物・コウノトリが市内3か所で営巣したため、モニタリング監視員を置き、観察・記録を行うとともに、巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。(期間：令和3年4月1日～6月28日)</p> <p>○指定文化財看板等修繕 288千円  ・説明板、案内看板等修繕・設置工事費 285千円  (しわ襷・越水・売布神社・黒部鏡子山古墳・奈良岡遺跡看板等)  ・看板土地借上料(3か所) 3千円</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 72千円  ・郷村断崖、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持管理経費 45千円  ・火災保険料(旧口大野村役場庁舎、郷村断崖、浜詰遺跡復元住居) 27千円</p>											
	成果・課題			<p>○市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付し、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。  ○コウノトリの営巣に伴い必要な保護活動を行い、コウノトリの個体保護に寄与することができた。  ○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。また、文化財案内看板等の計画的な整備につとめ、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局						
	項	04 社会教育費						46,150千円	46,332千円	182千円	99.6%	課	文化財保護課	
	目	07 文化財保護費											03 遺跡整備事業	46,332千円
	事業													
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源	<p>国重要文化財等保存・活用事業補助金(1/2) 22,617千円  市債 遺跡整備事業債(過疎対策債) 21,900千円</p>										
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。													
主要な業務・事業の概要	<p>国史跡網野鏡子山古墳について、平成28年度に策定した整備基本計画に基づき、史跡の保存を図りつつ整備工事を行った。整備工事は、条例に基づき設置した京丹後市史跡整備検討委員会、文化庁等関係機関の指導を受け実施した。(令和6年度完成予定)  また、国史跡神明山古墳について、墳丘の保全を阻害する樹木の整理伐採及び園路階段の補修を行った。</p> <p>○網野鏡子山古墳整備事業費 42,900千円  ・報酬 史跡整備検討委員会委員報酬 48千円  (1回開催、委員12人)  ・旅費 史跡整備検討委員会委員参集旅費等 184千円  ・需用費 消耗品費 85千円  ・委託料 実施設計委託料 2,970千円  工事監理委託料 1,485千円  維持管理草刈委託料 703千円  ・工事請負費 環境整備工事費 37,425千円  墳丘部の整理伐採69本、墳丘前方部の墳丘復元盛土工574㎡、周溝表示工(新設)1430㎡・表面舗装1571㎡等。</p>		<p>○神明山古墳環境整備事業費 3,250千円  ・委託料 環境整備業務設計監理委託料 308千円  雑木伐採委託料 2,006千円  ・工事請負費 作業道撤出路階段改修工事 936千円  古墳墳丘上の危険木・支障木伐採19本分、木製階段・手摺取替工事23段分</p>											
	成果・課題			<p>○網野鏡子山古墳については、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事の一部を遂行できた。  ○神明山古墳については、墳丘の危険木等を伐採し、適切な維持管理を図るとともに、後円部墳丘上からの眺望を確保し、環境整備と活用に資することができた。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	6,606千円	6,641千円	35千円	99.4%		
	目	07 文化財保護費				(参考)当初予算額		
	事業	04 遺跡発掘調査等事業				6,641千円	課	文化財保護課
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	国補 府補	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(1/2) 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4)		3,300千円 1,650千円			
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を傳るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護活用につなげる。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	浜詰遺跡(網野町浜詰)、東風ヶ奥遺跡(大宮町河辺)の発掘調査を実施し、報告書を刊行した。また、網野銚子山古墳(網野町網野)発掘調査の報告書刊行に向け、整理作業を行った。 ○会計年度任用職員任用経費 3,945千円 (発掘調査補助員・整理員・作業員9人) ・報酬 3,591千円 ・報酬期末手当 132千円 ・共済費(労災保険料、雇用保険料) 23千円 ・費用弁償 199千円 ○発掘調査等経費 2,661千円 ・旅費(協議) 11千円 ・需用費(消耗品、発電機燃料代、印刷製本費等) 395千円 ・役務費(し尿汲取手数料) 4千円 ・委託料(網野銚子山古墳に関する遺構図面作成・赤色立体地図等作成委託料) 1,864千円 ・使用費借料(重機・機械器具・仮設トイレ借上料) 387千円		<調査概要> ・浜詰遺跡(現地調査 令和3年5月6日~31日) 府営住宅跡地の分譲計画に先立ち、範囲確認調査を行い、周辺の旧地形の復元を考えるデータを得ることができた。また、令和2年度調査で見つかった貝塚から出土した縄文土器・石器・貝類・骨類の整理作業を行った。 ・東風ヶ奥遺跡(現地調査 令和3年6月29日~7月30日) 墓地造成計画に先立ち、範囲確認調査を実施し、弥生時代~古墳時代の土器を確認した。 ・網野銚子山古墳(整理作業のみ) 平成28年度~31年度に実施した発掘調査出土物の整理や、遺構のデジタル化、赤色立体図の作成を行った。(令和5年度報告書発刊予定)		成果・課題 ○浜詰遺跡の調査では、当時の土地利用や植生等、海辺の縄文人の暮らしを知る上で貴重な成果を確認できた。 ○東風ヶ奥遺跡の調査では、土地利用や遺物の散布状況を確認できた。 ○網野銚子山古墳では、遺物の整理や遺構のデジタル化等を進め、報告書発刊の準備を進めることができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費	6,565千円	7,275千円	710千円	90.2%							
	目	07 文化財保護費				(参考)当初予算額							
	事業	05 地域文化財総合活用推進事業				6,174千円	課	文化財保護課					
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	国補	文化芸術振興費補助金		6,539千円								
目的	市内に数多く残る文化財について、指針となる文化財保存活用地域計画の策定を行うことで、市の歴史文化の特色や課題を明らかにするとともに、その課題解決に向け教育、観光、地域づくり等の各分野が地域資源として有効活用につなげる。		主な財源										
主要な事務・事業の概要	文化財関係者および、商工・観光関係者等が参画した策定協議会及び保存・活用分科会を設置し、文化財保存活用地域計画の作成を進めた。 ○文化財保存活用地域計画策定協議会開催経費(委員15人) 163千円 ・協議会委員謝金 半日×2回(4,000円×延べ26人) 104千円 ・委員費用弁償 59千円 ○地域計画策定協議会保存分科会開催経費(委員3人) 85千円 ・分科会委員謝金 半日×2回(4,000円×6人) 24千円 ・協議旅費 61千円 ○地域計画策定協議会活用分科会開催経費(委員7人) 57千円 ・分科会委員謝金 半日×2回(4,000円×12人) 48千円 ・委員費用弁償 9千円 ○計画策定委託料 6,227千円 ・文化財保存活用地域計画策定支援委託料		○事務経費 33千円 ・消耗品費、地区アンケート返信用切手代 (地区アンケート…神社・寺院・祭礼行事の意識調査とともに、民俗行事の現状把握、地域資源の掘り起こしを行ったもの。)		<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>6,583千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.7%</td> </tr> </table>			参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,583千円		実質的な予算執行率	99.7%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,583千円										
	実質的な予算執行率	99.7%											
		■令和4年度への繰越事業 692千円 京丹後市文化財保存活用地域計画策定業務 令和4年12月完了予定		成果・課題 ○協議会及び分科会を設置し、委員の意見を聞きながら、計画作成を進めた。(令和4年12月文化庁認定予定) ○計画策定後、本計画を実行・推進していくための枠組みや体制づくりが重要な課題である。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局										
	項	04 社会教育費							29,484千円	29,866千円	382千円	98.7%						
	目	05 資料館費											01 郷土資料館管理運営事業	(参考)当初予算額				
	事業														30,773千円			
課																		
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	使用料	郷土資料館入館料	18千円														
目的	民俗資料等の収蔵、調査並びに公開施設である郷土資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。	主な財源	市債	旧社会教育施設解体事業債（公共施設等適正管理推進債）	23,700千円													
主要な事務・事業の概要	<p>豊蔵に残る市所蔵の民俗資料、古文書・典籍・書籍等の適切な保管・公開を行った。また旧網野郷土資料館解体工事を実施した。</p> <p>○会計年度任用職員任用経費（資料館業務員1人） 730千円 ・報酬、費用弁償、労災保険料</p> <p>○維持管理費 2,056千円 ・維持管理経費（燃料、光熱水費、修繕、通信費等） 1,452千円 ・施設保守管理経費（貯水槽、浄化槽、消防設備） 160千円 ・施設整備委託料 83千円 ・使用賃借料（コピー機借上料、テレビ受信料） 161千円 ・その他事務経費（消耗品、ごみ処理手数料） 200千円</p> <p>○郷土資料館展示室エアコン取付工事 86千円</p> <p>○旧網野郷土資料館解体工事 26,612千円 ・工事請負費（施設除却） 25,439千円 ・工事監理委託料 1,100千円 ・処理手数料（廃消火器、鉄屑等） 73千円</p>		<p>【企画展示】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>タイトル</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.7.24~R3.8.31</td> <td>企画展示「昔のおもちゃ」</td> <td>147人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【入館者数・推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,684人</td> <td>822人</td> <td>75人</td> <td>215人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25~5/31及び8/27~9/17を臨時休館としたこと、市内小学校利用がなかったことから入館者数は大きく回復しなかった。</p>		期間	タイトル	入館者数	R3.7.24~R3.8.31	企画展示「昔のおもちゃ」	147人	H30	R元	R2	R3	1,684人	822人	75人	215人
	期間	タイトル	入館者数															
	R3.7.24~R3.8.31	企画展示「昔のおもちゃ」	147人															
	H30	R元	R2	R3														
1,684人	822人	75人	215人															
成果・課題	<p>○民俗資料・典籍等の公開並びに小学生を対象とした夏休み特別企画「昔のおもちゃ」展を実施するなど、文化財の普及啓発を図った。</p> <p>○今後も安全・安心な来館者の受入に努めるとともに、常設展示の配置や展示資料の解説内容などを工夫、改善していくことが課題である。</p>																	

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																
	項	04 社会教育費							11,412千円	11,542千円	130千円	98.8%												
	目	05 資料館費											02 古代の里資料館管理運営事業	(参考)当初予算額										
	事業														11,541千円									
課																								
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	使用料	古代の里資料館入館料	340千円																				
目的	考古資料・美術工芸品等の収蔵・調査・公開施設である丹後古代の里資料館の維持管理を行い、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高める。	主な財源	諸収入	古代の里資料館陶芸教室実習料	93千円																			
主要な事務・事業の概要	<p>考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図った。</p> <p>○会計年度任用職員任用経費（資料館業務員4人） 8,384千円 ・報酬、期末手当、共済費、費用弁償</p> <p>○維持管理、展示等に関する経費 3,028千円 ・維持管理経費（燃料、光熱水費、修繕、通信費、火災保険） 1,630千円 ・施設保守管理経費（電気設備、浄化槽、消防設備） 389千円 ・施設整備委託料 86千円 ・使用料及び賃借料（コピー機、清掃用具、土地借上げ等） 462千円 ・その他事務経費（消耗品、ごみ処理手数料） 280千円 ・展示関係経費（展示パネル印刷、旅費、有料道路通行料等） 181千円</p>		<p>【企画展示】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>タイトル</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3.4.24~R3.8.1</td> <td>春季企画展示「地域の中の湯湯坂2号墳」</td> <td>437人</td> </tr> <tr> <td>R3.10.2~R3.12.26</td> <td>秋季企画展示「永浜宇平の生涯」</td> <td>555人</td> </tr> <tr> <td>R3.4.2.19~R4.4.10</td> <td>企画展示「丹後震災の記憶」</td> <td>282人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【入館者数・推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,259人</td> <td>2,821人</td> <td>1,380人</td> <td>1,579人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25~5/31及び8/27~9/17を臨時休館としたこと等の影響から、入館者数が微増するにとどまった。</p>		期間	タイトル	入館者数	R3.4.24~R3.8.1	春季企画展示「地域の中の湯湯坂2号墳」	437人	R3.10.2~R3.12.26	秋季企画展示「永浜宇平の生涯」	555人	R3.4.2.19~R4.4.10	企画展示「丹後震災の記憶」	282人	H30	R元	R2	R3	3,259人	2,821人	1,380人	1,579人
	期間	タイトル	入館者数																					
	R3.4.24~R3.8.1	春季企画展示「地域の中の湯湯坂2号墳」	437人																					
	R3.10.2~R3.12.26	秋季企画展示「永浜宇平の生涯」	555人																					
R3.4.2.19~R4.4.10	企画展示「丹後震災の記憶」	282人																						
H30	R元	R2	R3																					
3,259人	2,821人	1,380人	1,579人																					
成果・課題	<p>○考古・歴史資料の公開により、文化財の普及啓発を図った。</p> <p>○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小中学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後もより一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。</p> <p>○開館から25年以上が経過しており、館内設備の計画的な更新等が今後の検討課題である。</p>																							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局								
	項	04 社会教育費	8,977千円	9,165千円	188千円	97.9%									
	目	05 資料館費				(参考)当初予算額									
	事業	03 資料館等指定管理施設運営事業				8,587千円									
課		文化財保護課													
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進														
目的	琴引浜鳴き砂文化館の維持管理を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。		主な財源												
主要な事務・事業の概要	<p>鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、琴引浜鳴き砂を守る会が管理運営を行った。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けている。</p> <p>○琴引浜鳴き砂文化館指定管理委託料 7,299千円</p> <p>○使用料及び賃借料 1,288千円 公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び土地所有者への駐車場用地賃借料</p> <p>○指定管理者休業協力金 390千円 臨時休館期間 (4/25~5/23及び8/27~9/17)</p> <p>【入館者数・推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,787人</td> <td>9,520人</td> <td>6,055人</td> <td>6,443人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4/25~5/31及び8/27~9/17を臨時休館とした影響から、入館者数が微増することとなった。</p>		H30	R元	R2	R3	9,787人	9,520人	6,055人	6,443人					
	H30	R元	R2	R3											
9,787人	9,520人	6,055人	6,443人												
成果・課題					<p>○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。</p> <p>○リピーターを含む市内外からの利用者獲得へ向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕を計画的に実施し、適正な管理運営に努める必要がある。</p>										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	35,645千円	35,858千円	213千円	99.4%	
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額	
	事業	05 文化芸術事業				34,976千円	
課		生涯学習課					
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進						
目的	市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう文化芸術活動を支援し、ゆとりと潤いのある社会づくりを推進する。 また、文化芸術振興審議会を設置し、文化芸術振興計画の策定に向け、調査・審議する。		主な財源				
主要な事務・事業の概要	<p>文化芸術活動団体への支援を行い、市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供し市民による文化芸術活動の充実を図めた。</p> <p>○京都：Re-Search実行委員会負担金 2,000千円 R3.10.1~11.7 網野町浅茂川地区、三津漁港でアーティストの作品等を展示</p> <p>○京都府丹後文化事業団運営補助金 27,000千円</p> <p>コロナ禍の中、多くの事業・公演が中止・延期となったが、映画上映やコンサート、各種公演の実施など、丹後地域における豊かな文化の振興及び普及事業を支援した。</p> <p>映画上映3回(計760人)、コンサート2回(計1,137人)などを開催</p> <p>○京丹後市文化協会活動費補助金 3,500千円 ・加盟団体135団体、1,825人</p> <p>コロナ禍で開催できなかった「総合文化祭」の代替事業として実施された「小さな発表会配信事業(所属サークルの発表を撮影し、ケーブルテレビで放映)」や「総合作品展」開催のほか、支部事業など市民の芸術鑑賞機会や自主的な活動を支援した。</p> <p>R3.12.4~12.5 総合作品展開催(網野体育センター・来場者数355人) R3.12.4~12.5 小さな発表会配信事業実施(参加16団体、R4.2~放映)</p> <p>○京丹後文化のまちづくり推進事業補助金 30千円 閉校になった学校の校歌保存事業(旧吉原小、旧五箇小)の実施を支援</p>		府補		きょうと地域連携交付金(文化芸術事業) 2,256千円		
	成果・課題					<p>○丹後文化芸術祭実行委員会補助金 1,300千円 舞台2事業、展示2事業、セミナー2事業を支援</p> <p>○小町ろまん全国短歌大会開催補助金 7千円 募集期間：R3.7.1~9.10 大会開催：R3.11.27</p> <p>○田中影子京丹後公演実行委員会補助金 1,000千円 R4.2.6 田中影子ソプラノリサイタル 丹後文化会館 [文化芸術振興計画策定検討に関する経費]</p> <p>○文化振興に関する意向アンケートの実施 399千円 市民の文化芸術活動や文化芸術に関する意向を把握するために、アンケート調査を実施。回答：市民714人、高校生338人、団体116団体</p> <p>○京丹後市文化芸術振興審議会 409千円 ・文化芸術振興審議会委員報酬、アドバイザー謝金ほか 委員13人、アドバイザー3人、審議会開催回数：4回</p> <p>○幅広い世代が優れた文化を鑑賞できる機会の提供及び地域文化の普及・振興等を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。</p> <p>○市民ニーズを的確に把握した事業の推進、文化協会等各団体の更なる自立運営に向けて支援していく必要がある。</p> <p>○文化芸術に関する施策を総合的、計画的に推進するため、京丹後市文化芸術振興計画策定に向け、文化芸術振興審議会を設置し、審議を進めている。</p>	



予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費						171千円	213千円	42千円	80.2%	課	文化財保護課
	目	07 文化財保護費											
	事業	01 文化財保護審議会委員設置事業											
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源										
目的	文化財の指定解除等の格問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。												
主要な事務・事業の概要	○文化財保護審議会の開催経費 140千円 文化財指定、市指定文化財の管理、現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため審議会を開催。（委員定数：10人） ・報酬 半日×2回（4千円×延べ19人） 125千円 1日×1回（7千円×7人） ・費用弁償 15千円												
	○両丹文化財保護連絡協議会への参加経費 31千円 令和3年度は宮津市で開催（令和3年11月19日） ・報酬 協議会出席：半日×7人（4千円×7人） 28千円 ・費用弁償 3千円												
			成果・課題	文化財関係事業について、審議会委員の意見を聞きながら進めることができた。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	04 社会教育費						216千円	352千円	136千円	61.3%	課	文化財保護課
	目	07 文化財保護費											
	事業	50 文化財保護一般経費											
基本計画	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源										
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。												
主要な事務・事業の概要	○文化財収蔵施設維持管理費（6カ所） 122千円 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 十楽収蔵庫（久美浜町十楽） 網野出土遺物収蔵庫（網野町網野） 旧成路分校（峰山町錦留） 旧三重保育所（大宮町三重） 高嶋寮（丹後町上野） ・光熱水費、火災保険料、草刈委託料、事務費 122千円												
	○文化財関係加盟団体経費 60千円 ・全国史跡整備市町村協議会 40千円 ・全国鳴き砂ネットワーク 20千円												
○会議出席経費 34千円 全国史跡整備市町村協議会臨時大会出席旅費 ・開催日：令和3年11月25日 ・内容：陳情活動 ・出席者：担当職員1人			成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。									